

日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



ニュース

2024年8月23日

9月号 No.132

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子
連絡先：議員団控室（市役所内）
TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

高齢者福祉専門分科会



7月24日に高齢者福祉専門分科会で高齢者福祉計画・介護保険事業計画の2023年度の進捗状況などの報告がありました。委員としてきよた議員が出席。発言の一部を掲載します。

認知症支援の

チームオレンジの構築について

きよた議員の質問

65歳を過ぎると5人に1人が認知症になると言われています。初期の適切な診断とケアなどで進行を緩やかに

することが、一人ひとりが安心して生活できる地域をつくることかなにより重要です。

チームオレンジの構築とは具体的にどのような取り組みですか。

現在のチームオレンジの活動についてですが、イオン高槻様よりお声がけをいただき、毎月15日にフードコー

トの一角をお借りし、認知症の方、またその家族、認知症地域支援推進員等の支援者が集

い、地域で暮らす認知症の方やその家族の支援ニーズとサポーター

等の支援を結び付けようと2023年より取

り組んでおります。多くの市民の目につく場所であり認知症に関する啓発の効果も期待でき、また認知症の

方やその家族に対する生活面の早期からの支援つながらるよう取り組んでおります。

訪問介護について

きよた議員の質問

介護労働安定センターが7月10日に公表した「介護労働実態調査」のレポートでは、2023年度の従業員

の過不足状況は「大いに不足」、「不足」、「やや不足」を合計した64.7%が不足感を抱いている事業所ということになる

とし、「訪問介護員の不足感の深刻さがより増している」と指摘されています。

高槻市でのヘルパー不足と利用者への影響を教えてください。

市の回答

本市の事業所からも

引き続き、介護人材の確保や介護報酬等について、国に要望を行うとともに、大阪府や市介護保険事業者協会と連携し、健康・生きがい就労トライアル事業の実施や、介護の仕

事の魅力啓発など、多様な人材の確保等に向けた取組を進めてまいります。

きよた議員の意見

しっかりと、市民や若い。国に声をあげてくださ

い。

大阪・関西万博に学校行事として子どもを参加させる事業に対し、7月10日に大阪府教育委員会が府内43市町村の教育長らに説明をしましたが、ほとんどの内容が調整・検討中のままでした。

爆発事故を起こしたメタンガスについては、万博協会の対応策を紹介するだけで、災害時の対応計画も、協会から「夏ごろに示される予定」との説明にとどまりました。貸切バスで来場する児童・生徒に乗降場から会場入り口まで800メートル歩かせる問題については「小学生低学年及び支援学校生の負担軽減に向けた取り組みを検討中」と説明しました。

昼食に使う団体休憩所については、複数の飲食可能な休憩所の増設を協会が調整中だと説明。開幕后しかできないとされてきた引率教員の下見については開幕前もできるように協会に申し入れていると説明しました。

また、学校単位の訪問の意向変更について「希望の取り下げは本予約までは可能」と説明しました。

万博遠足

市町村教育長に説明会実施 ほとんどが「検討中」

大阪・関西万博に学校行事として子どもを参加させる事業に対し、7月10日に大阪府教育委員会が府内43市町村の教育長らに説明をしましたが、ほとんどの内容が調整・検討中のままでした。

爆発事故を起こしたメタンガスについては、万博協会の対応策を紹介するだけで、災害時の対応計画も、協会から「夏ごろに示される予定」との説明にとどまりました。貸切バスで来場する児童・生徒に乗降場から会場入り口まで800メートル歩かせる問題については「小学生低学年及び支援学校生の負担軽減に向けた取り組みを検討中」と説明しました。

昼食に使う団体休憩所については、複数の飲食可能な休憩所の増設を協会が調整中だと説明。開幕后しかできないとされてきた引率教員の下見については開幕前もできるように協会に申し入れていると説明しました。

また、学校単位の訪問の意向変更について「希望の取り下げは本予約までは可能」と説明しました。

また、学校単位の訪問の意向変更について「希望の取り下げは本予約までは可能」と説明しました。

また、学校単位の訪問の意向変更について「希望の取り下げは本予約までは可能」と説明しました。

また、学校単位の訪問の意向変更について「希望の取り下げは本予約までは可能」と説明しました。

戦争と平和について話し合おう 「2度と戦争しない」憲法9条を守ろう

終戦79年を迎える時期に、「世界平和から日常の平和について、じっくり話したい」との意見があり、7月27日に柱本地区で「戦争と平和」をテーマに懇談会をしました。懇談会では、高槻市での空襲被害や戦没者（2583名）、被爆健康手帳所持者、戦争を語り継ぐ証言（憲法施行50周年記念「平和への思い」・高槻市作成）について

報告しました。全国でも高槻でも先の戦争体験者が少なくなっています。戦争の悲惨さ、平和の尊さについて世代を超えて語り継ぐことが求められます。



懇談会参加者の声・感想

「息子は大人になって広島で原爆資料館をみて、はじめて戦争というものを身に染みて実感したと言っている。歌詞の『戦』の部分を変える場合もあるとか。戦争は『つらいことばかり』と話していたことを思い出して、父は戦争に行ったが『思い出したくない』と語らなかった。」

「母はうめぼしのうた（明治・大正時代に歌われていた）が好きだと言っていた。今は老人ホームで体操の歌で使われている。歌詞の『戦』の部分を変える場合もあるとか。戦争は『つらいことばかり』と話していたことを思い出して、父は戦争に行ったが『思い出したくない』と語らなかった。」

高槻市の空襲被害

1945年	場所(当時市域外)	死亡	重傷	軽傷	全焼壊	半焼壊
3月19日	原(千原橋付近)	2				1
6月7日	真上(現緑が丘2丁目)	2		1		2
6月15日	芝生(現芝生町1丁目)	1	1	1	10	1
	西冠(現西冠1丁目)					1
7月9日	三島江(三箇牧村)				1	1
7月28日	野見神社付近			2		
	国鉄高槻駅付近		2			
7月30日	国鉄富田駅(富田町)		1	3		
合計		5	4	7	11	6

※市の答弁と戦争の記録を残す高槻市民の会編『わが街たかつきの戦争の記録』より

被爆者健康手帳所持者(高槻市民)

2004年度	451人
2014年度	344人
2023年度	199人

「父は戦争に行ったが『思い出したくない』と語らなかった。」

2023年度政務活動費(2023年4月~2024年3月)

支出	費用	金額	主たる支出内容
日本共産党市会議員団の活動費	議員団ニュース、資料	896,176	版下代、印刷代、書籍、新聞
	議員別市政ニュース	625,190	版下代、紙、インク代
	印刷機・FAXリース料	92,730	保守契約、印刷機・ファックスリース料
	通信費	29,020	電話通信費
	事務雑費	13,797	事務コピー代、ファックス用紙代、他
	合計	1,656,913	

※活動費は議員で出合っています。

「父は戦争に行ったが『思い出したくない』と語らなかった。」

2023年度の政務活動

政務活動費の支給額は議員1人に月7万円、年間84万円です。ただし、その年度に使わなかった金額は全額市に返金されています。政務活動費は2020年度から新たな規定で運用がはじまり、コロナ禍で活動の制限もありました。2023年度は新型コロナウイルスによる行動制限の解除等に伴い、研修会・会議費や旅費の増加が見られましたが、広報費の減少により、前年度比で約67万円の減少となりました。また、政務活動費改定前の全体執行率は2019年度42.6%に対し、2023年度は22.2%です。高槻市議会では政務活動費の収支報告をホームページで公開しています。

この間の執行状況から考えて、日本共産党高槻市会議員団は1人当たりの支給額の引き下げを求めています。

日本共産党市会議員団の活動費

673-0002 生活相談 ☆ホットライン お困りごとはありませんか?
日時: 9月26日(木) 14:00~15:30 市議員 きよた純子
当日は電話で相談を受け付けます。電話イラストの上の番号におかけください。